

## <おわりに>

立教大学ESD研究センター  
CSR チーム 研究フェロー  
岡本 享二

短期間に 20 か所以上の要所を訪れ、50 人近い教育、哲学、実業、持続性科学にかかわる人々とお会いすることができた。彼らとの会話や現地の視察を通して共通に感心したことは Vision や哲学を持って各々の活動に従事している姿だ。教育とは高所から人々に施すものではなく、複雑化した現代社会を紹介し、知ってもらうことで人々に自ら行動を起こさせる勇気を与え、教育者の予想をはるかに超えるような有益な成果を引き出すことだ。

マーチン・ルーサー・キング Jr. 中学校では荒廃していた駐車場を取り崩して 5,000m<sup>2</sup>にも広がる畑を提供した。そこでは子供たち自らが畑を耕し、それを食材にして食し、余ったものは商品として売ること、より楽しく社会を知ることができ、落ち着いた中学に戻って行った。今日の教育は、より学際的、全体的、そして行動能力を問われるものになっている。

18～20 世紀に勃興した現代科学はすでに遅れたものになり、21 世紀では持続性科学が問われている。すなわち従来の科学が「個々のすべてを理解し、個々を別々に制御する」ことに腐心したのに対し、持続性科学では「個々のすべてを理解し、それらの関係性を制御する」。原油を例にとれば、燃料や原材料としてかけがえのないものであるが、採掘による生態系の破壊、海洋汚染、CO<sub>2</sub> 発生による温暖化など等、周辺領域の影響を従来は問うてこなかった。これからは全体に与える影響を科学し、全体のバランスの基に個々の開発を進めねばならない。ESD という教育もしかりである。個々の深堀もさることながら、学際性を理解し、全体を俯瞰し、バランスよく行動につながるものにならなければならない。

今回の渡米に際しては同僚の中野民夫、新谷大輔の両君が長年にわたって培ってきた地縁や人のつながりを活かして、これ以上は望めないような訪問先と人選が行われた。また、それを現地で献身的にサポートしてくれたパロマ・バベルの存在があった。この三人とは早朝の朝食会議、夜遅くなつての振り返り会議、帰路の飛行機内でのブレインストーミングなど、怠けがちな私を鼓舞してくれた熱心さと偉大な能力に脱帽した。

さらにこのような貴重な機会を与えてくださった文部科学省、立教大学 ESD 研究センターに対し深く感謝する。

感動のさめやらぬうちに米国ベイエリアで学んだ ESD の現状と行動の大切さを ESD 研究センター CSR チームとして、より多くの皆様に伝えていきたいと誓いを新たにしている。

2009 年 10 月

## <立教大学 ESD 研究センター紹介>

立教大学 ESD 研究センター (ESDRC) は、ESD (Education for Sustainable Development、持続可能な開発のための教育) が多様な社会活動の中で実質的に機能することを目標として、2007年3月に立教大学に設立されました。また、2007年6月には、『「持続可能な開発のための教育(ESD)」における実践研究と教育企画の開発』として、平成19年度の文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業に選定され、多種多様な研究活動の展開が国内外から期待されています。

ESD 研究は、環境・経済・社会のあらゆる領域をカバーする学際的研究ですが、従来の研究は、個々の領域での研究活動が主となることが多く、総合的な「教育の再方向付け」の提言、教育システムの開発と実践、指導者・教育者の人材養成、研究活動・実践活動のネットワーク形成までには至っていません。当研究センターは、「環境教育」と「開発教育」を切り口として、人文・社会科学的視点からこれらの課題にアプローチし、アジア・太平洋地域におけるネットワークをさらに強化し、この分野の「ハブ」機能を果たすことを目指しています。

研究および実践活動は、テーマ別に、アジアチーム、太平洋チーム、CSR チーム、統括チーム、の4つのチームで行い、定期的な研究会に加え、シンポジウムや講演会、ワークショップやセミナーなどの公開を企画運営しています。

活動の内容や研究および実践の成果はウェブサイトですぐ更新しております。こちらをあわせてご覧ください。

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/>

## CSR 調査レポート ―アメリカ(2009)―

---

発行日：2010年2月26日

発行人：阿部治

立教大学 ESD 研究センター CSR チーム研究フェロー

発行所：立教大学 ESD 研究センター

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

TEL/FAX:03-3985-2686

Email：esdrc@grp.rikkyo.ne.jp

URL：http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/

著者：岡本享二・新谷大輔・中野民夫

編集：照沼麻衣子

印刷：上毛印刷